

# 憲法は機能しているのだろうか

## 2つの企画を通じて見えてきたこと

# 神奈川県弁護士会新聞

発行所  
神奈川県弁護士会  
横浜市中区  
日本大通9番地  
☎045-211-7707  
URL <http://www.kanaben.or.jp/>

**1 「辺野古訴訟 福岡高裁判決を問う」**

憲法問題シンポジウム

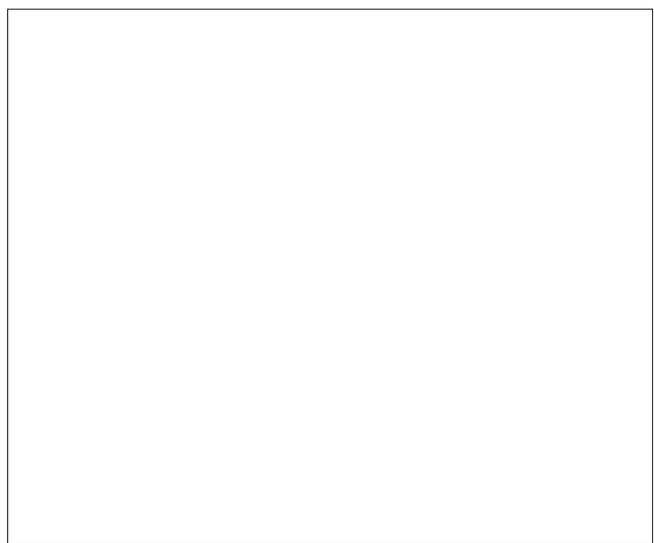
昨年11月28日、岡田正則早稲田大学法科大学院教授を講師に招き、当会会館にて、憲法問題シンポジウム「辺野古訴訟 福岡高裁判決を問う」を当会主催で開催した。

辺野古への米軍新基地建設を巡り、国は、沖縄県知事が国の指示に従わないことが違法であるとして県知事を訴え、福岡高裁は、昨年9月16日、国の主張を全面的に認める判決を言い渡した。

岡田教授は、判決は、前知事の埋立承認は適法・正当である、と判断するところからスタートして現知事の承認取消の

判断を違法であると結論付けており、「埋立が必要である」という赤裸々な判断が全体を貫いていること等、その問題点を指摘した。

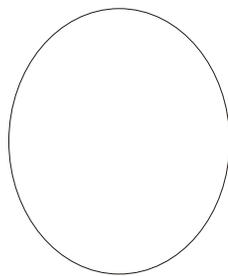
講演は、行政法、地方自治法が中心となる高裁判決の解説という、とても難しいテーマであったが、岡田教授は、判決の問題点を具体的に指摘し、親しみやすい口調でかみくだいて説明した。70名を超える参加者からは、難しい内容なりに理解できた、報道ではわからなかったことが理解できてよかった、等、好評の声が寄せられ、また、



熱弁を振るう岡田教授

## 業務に関する悩みごと ご相談に応じます!

～会員サポート窓口～



私たち「会員サポート窓口」では、会員の皆さんの業務に関する悩みごとについて、常時相談に応じています(秘密は厳守)。また、メンタルヘルスに関する研修会の

開催、各種相談・支援窓口を紹介する「会員サポートお品書き」の作成(会員サイトに掲載)等の活動をしています。

先ごろ私が受けたご相談に、「以前担当した刑事事件に関し警察から捜査関係事項照会を受けたい。どう対処したらよいだろうか?」というものがありました。これに対し、照会の法的根拠や拒

否した場合の効果、弁護士守秘義務に関する諸規定との関係等について調査のうえ、資料を提供させていただきました。

その結果、無事に対応ができたということで、感謝のお言葉を頂戴しました。

当窓口では、中堅・ベテランの相談員(会員サイトに名簿を掲載)が対応しています。若手会員

の皆さんにもより利用していただきやすいよう、相談員の拡充もしました(相談員を選ぶことも可能です)。

業務上の悩みごとがあまりましたら、一人で抱えこまず、ぜひ窓口の利用をご検討下さい(業務課第一係・045-211-7711までお電話を)。

(会員 山崎 健一)

**2 「南スーダンPKO」駆け付け警護の問題を考える**

会内学習会

12月1日には、井上正信弁護士(広島弁護士会)を講師に、標記の会内学習会を開催した。

井上弁護士は、膨大な資料に基づき、南スーダンPKOの実情、7月内戦、UNMISS(国連南スーダン共和国ミッション)の変遷等の実態を緻密に検討し、PKO参加5原則は充たされておらず派遣は違憲であるこ

と、南スーダンの情勢に照らせば駆け付け警護任務付与も違憲となりうることを指摘した。

2つの企画を通じて、憲法が危機にさらされていることを改めて強く感じた。憲法の基本原則と立憲主義を堅持すべく、憲法問題対策本部の活動に取り組んでいきたい。(会員 関守 麻紀子)

松も明けた1月10日、ロイヤルホールヨコハマにて、当会恒例の賀詞交換会が開催され、60名余の会員が集まった。

年頭にあたり、三浦修会長が、本年も引き続き立憲主義の堅持、不祥事対策、業務拡大等のテーマに取り組んでいきたい旨の抱負を述べた。

続いて、当会在会55年・50年等及び長寿祝いの会員が表彰された。長年に

から表彰されるのはよ

からの祝辞の後には、被表彰者を代表して高津公子会員(在会50年)からスピーチがあった。

高津会員は、幼児を連れて常議員会に出席した思い出や、会館新設の際に授乳のための婦人会員室をつくったことも語ったことなどを語り、当会は働く女性に寛容だったという印象を語った。一方で、会

の皆さんにもより利用していただきやすいよう、相談員の拡充もしました(相談員を選ぶことも可能です)。

業務上の悩みごとがあまりましたら、一人で抱えこまず、ぜひ窓口の利用をご検討下さい(業務課第一係・045-211-7711までお電話を)。

(会員 山崎 健一)

私を犬を飼っている。柴犬の女の子だ。柴犬といえば、主人に忠実、番犬に最適と言われるが、うちの犬は少し違う。来客にはキュンキュンいって可愛がってもらおうとするし、私が頭をなでようとすると、走って逃げ回る▼でも、とにかくかわい。容姿もさることながら、家に帰ると甘えてくるし、油断していると膝の上に乗って顔を舐めてくる。仕事中、犬に会いたくて早く帰りたいこと、しよっちゅうである▼しかし、散歩は大変である。雨の日も、帰りが遅くなっても、必ず毎日最低40分間は連れて行かなければならない。でも、おかげで散歩に行くようになってから、順調に体重が減ってきた▼更に、密かな楽しみもある。月に一度は散歩中に、見知らぬ人から、「かわいいですね」などと声をかけられるのである。勝手に触ろうとする人もおり迷惑な場合もあるが、何故か嬉しい。私は経験はないが、容姿端麗な方々は、異性からこんな風に声をかけられているのだらうな、と勝手に想像している▼今や世界でも注目の柴犬。生活に潤いが生まれ、健康にもいいこと間違いなし。お勧めである。

(奥園 龍太郎)

行政に追従するかのよう司法判断に対する懸念が示された。

岡田教授の話聞き、筆者は、第三者として審理・判断を行う機関であるはずの裁判所が国と同じ立場で判断を行い、法治主義と地方自治を否定したものと考えられる

福岡高裁判決は、最高裁により是正されなければならない、との思いを強くしたが、12月20日、最高裁は、異例のスピードで、沖縄県の上告を退ける判決を言い渡した。

非常に残念であり、暗澹たる気持ちに陥った。

平成29年賀詞交換会

### 冬晴れの日、新春を寿ぐ

高津公子会員

来賓代表の富田善範横浜地裁所長

わたり当会や法曹界に貢献してきたお歴々に對し、会場は畏敬の念に満ちあふれた。

大谷晃大横浜地検検事正の乾杯の首領により祝いの杯が交わされた後は、思い思いに新年の挨拶を交わす姿が其処彼処に見られ、まこと賑々しい新春の宴となった。

(会員 畑中 隆爾)

臨時總會のご案内

日時 平成29年2月23日(木) 13:00

場所 横浜情報文化センター 6階 情文ホール

神奈川県のアウトライントと天秤をモチーフにした神奈川県弁護士会のロゴマークです。

山ゆり

# 暮らしとところの相談会 専門家間の連携強化の取組

昨年12月10日、当会の貧困問題対策本部自死問題対策部会は、昨年2回目の「暮らしとところの相談会」を当会会館で実施した。この相談会は、5年前から、自死問題対策として、法律問題だけでなく「暮らしとところ」の相談会を当該会館で実施している。我々弁護士だけでは解決困難な事案についても、様々な専門家が連携することにより、解決できることが増えるはずである。

法律相談とは全く異なる満足度をいただける相談会となっている。自死問題対策部会では、毎年、行政の担当者、臨床心理士、精神保健福祉士、司法書士、いのちの電話の担当者などと一緒に、事例検討会も行っている。我々弁護士だけでは解決困難な事案についても、様々な専門家が連携することにより、解決できることが増えるはずである。

専門家間の連携強化の取組に興味を持たれた会員におかれては、ぜひ、自死問題対策部会に顔を出していただければ幸いです。

（会員）小野 通子

## 外国人無料法律相談会 通訳付きの対応

昨年11月22日、みなとみらいのパシフィコ横浜にある横浜市国際交流協会(YOKE)の情報・相談コーナーにて、外国人無料法律相談会を実施した。

この相談会は、当会が関東弁護士会連合会からの委託を受け、YOKEとの共催で年1回、毎年11月に実施している。YOKEの協力で複数言語でのチラシを作成し、充実した広報を行っているため、毎年、多くの相談申込があり、全ての相談に、通訳を付けて対応している。

今回は、当会の人権擁護委員会外国人の人権に関する部会の部会員である引田大地会員と筆者が相談を担当した。相談内容は離婚や相続、帰化等多岐にわたり、中国語やスペイン語の通訳を付けて対応した。

今後も、関係機関と協力しながら、神奈川県在住の外国人に対して、有益な法律相談を提供できるよう尽力していきたい。

（会員）椋尾 ゆづ子

## 平成28年度 中小企業シンポジウム



野澤会員の講演に耳を傾ける参加者

野澤会員の講演に耳を傾ける参加者

野澤会員の講演に耳を傾ける参加者

野澤会員の講演に耳を傾ける参加者

野澤会員の講演に耳を傾ける参加者

野澤会員の講演に耳を傾ける参加者

野澤会員の講演に耳を傾ける参加者

野澤会員の講演に耳を傾ける参加者

# あなたの会社、それで大丈夫!?

## 債権回収のイロハ

債権回収、保全をテーマに、当会弁護士業務改革委員会主催(中小企業支援センター部会担当)で、中小企業シンポジウムを当会会館で開催した。当日は、76名の参加者を得て盛況であった。

野澤会員の講演に耳を傾ける参加者

野澤会員の講演に耳を傾ける参加者

野澤会員の講演に耳を傾ける参加者

野澤会員の講演に耳を傾ける参加者

野澤会員の講演に耳を傾ける参加者

不明な場合にFAX用紙の発信者情報から相手方の特定を行ったこと、人的関係から取引が切れない場合に第三債務者に対する相手方の売掛金に集合債権譲渡担保を設定して回収に成功したこと、宅建業者の弁済業務保証金制度の利用の経験談等が印象的であった。

野澤会員の講演に耳を傾ける参加者

野澤会員の講演に耳を傾ける参加者

野澤会員の講演に耳を傾ける参加者

野澤会員の講演に耳を傾ける参加者

野澤会員の講演に耳を傾ける参加者

# 知らなかったでは済まされない?

## 未成年後見等の実務

未成年後見等の実務

未成年後見等の実務

未成年後見等の実務

未成年後見等の実務

未成年後見等の実務

## 子どもの手続代理人研修会 経験談を聞く貴重な機会

子どもの手続代理人研修会

年末恒例 協同組合バザー

ご協力に感謝

昨年12月22日、当会会館にて、毎年恒例となつて

今年も、例年とは準備方法を変え工夫をしてみた。具体的には、例年商品の提供をお願いしてご協力いただいているにもかかわらず、それに対する感謝の意を表することが必ずしもできてはいない

ではないかと考えている。また、毎年ほぼ同じ方に「集荷責任者」「集荷担当者」などをお願いし、担当区域の組合員にFAXもしていただいていたが、これを、協同組合事務局からの2回のFAXと、あとはメールリングリストでの呼びかけだけに限定し、できるだけ負担を軽減する工夫も行って

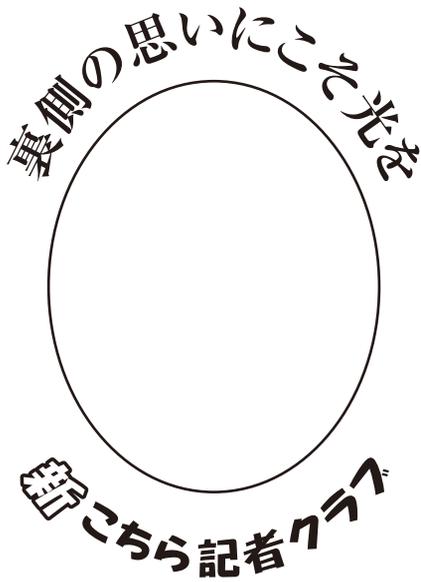
結果として、今回はこれまでの売上減少に一定の歯止めがかかり、売上増に転じてはいるので、今後、ない知恵を絞り、バザー活性化の方策を検討していきたい。

(神奈川県弁護士協同組合バザー実行委員会 委員長 青木 康郎)

「横浜事件」の国賠訴訟と聞いて、世の人々はどんな印象を抱くであろう。戦時最大

国家ぐるみのでっち上げ。弁護団はそう指摘した上で、

ないといけない」と訴える。弁護団の懸念の先には、特



「横浜事件は極めて現代的な意味を持つ。同じ過ちを繰り返さないためにも事件に学び

定秘密保護法や改正通信傍受法、安保関連法など近年の治

「前記状況」に近づきつつある。今だからこそ、横浜事件で闘争を続ける意味があると弁護団。

(神奈川県新聞報道部 高田 俊吉)

理事者室 だより

息抜き

副会長 宮下 京介

趣味らしい趣味がみつからない。副会長就任直前の昨年3月号では、取りあえず興味のあるものを挙げてみたが、今読み返すといずれも人に趣味といえるほどの活動ではなく、そのときどきの息

抜きになっていく程度のものでありである。

望みである。大学生の頃、鉄道ファンの友人に、鉄道のどこかに惹かれるのかを尋ねたことがある。友人は、少し考えてから「大量の人が街から街に移動していくところ」と回答した。

根を詰めて書類を読んで

何を趣味にしよう。自分は何が好きなのか。このように冷静に考えている時点で、理屈抜きで夢中になれる「趣味」を見つけたことは、もはや絶

ひとたびそうした機会を持つと、メールリングリストの意見一つにしても、今までと違った側面を見せてくれるようになります。

多様な弁護士の在り方。考え方を垣間見ることが出来る、得難いものである。

覗いてみた常議員会

会員 中野 智昭 (54期)

私が弁護士になって今年で4年目になります。が、以前任官していた関係、そして退官後即独立した関係上、「弁護士の在り方」を誰かに学んだという経験が薄く、自分自身の意見や感覚が他の弁護士と違っているのではないかと、と気になっていました。

1年間常議員を務めさせていたれております。第一感、あたりまえのことですが、「実にいろいろな考えの先生が集まっているのだな」ということです。

任期はまだもう少しありますが、一つ一つの議題に、一期一会の気持ちで、「自分なりの答え」を考えてみたいと思っています。

常議員会

「常議員会」の立場を考へる常議員会に参加すれば、もっと「弁護士」がよくわかるようになるのではないかと、そう思っています。

いろいろな委員会があり、それぞれの先生がそれぞれ譲れない部分をもって、意見を交わしていく。その機会が、「師

最後まで空気が、読まない気はするのですが

〈手記〉

# 野球部、全国大会単独優勝

## までの道のり

横浜マリナーズ第4代監督 会員 瀬古 宜春



「止めとけ、大人気ない！」に続く、「負けたらどうする！」の一言で、たちまち事態は収まった。

遂に辿り着いた全国単独優勝

ましてや他の弁護士会チームにとつては、横浜に負けることはこの上ない屈辱だったようで、昭和59年頃、たまたま横浜に負けた名古屋チームでは、監督の更迭問題が勃発したとのことである。

また日弁連野球最強の東京(過去36回の全国大会で24回の優勝)には、20点差で負けることも珍しくなく、全国優勝などは夢に見ることも不可能だった。(なので稲木監督は、「お前ら、全国優勝したらハワイに連れて行ってやる！」と豪語していたものである。)

当会野球部(横浜マリナーズ)は、昨年10月の第36回日弁連野球全国大会埼玉決勝大会で単独優勝を果たした。これは、過去の野球部を知る者にとってははじめて信じられない驚きの出来事である。当部は、日弁連野球大会準備委員会委員長の要請にこたえる形で、昭和56年6月、初代監督稲木俊介(13期)が中心となって設立された。しかし、その後の歴史は苦難に満ちたものであった。当初は、グラウンドに稲木監督の「投げるな

〜！」の怒声ばかりが響く有様で(送球すれば暴投で傷を広げるため)、試合を組んでもメンバーが揃わないなど、チームの存続さえ危ぶまれる状態が続いた。三斤対抗ソフトボール大会では、テニス部員中心の弁護士会チームにぼろ負けし、テニス部から「野球部と野球をやってもテニス部が勝つね!」と揶揄される始末だった。(なお、それに憤慨した野球部員がテニス部に果たし状を突き付けようとしたが、稲木監督の

出場を果たした。その後、予選で新潟に幾度となく苦杯を喫するなど、その歩みはなおも平坦なものではなかったが、徐々に決勝大会出場が当たり前のようになり、北九州決勝大会(平成18年)は強豪大阪を破

つてベスト4(岡部光平監督)、名古屋決勝大会(平成22年)は名古屋と決勝引分けによる同時優勝(三浦修監督)、宮崎決勝大会(平成24年)は本大会で初めて東京を破つてのベスト4(阿部泰典監督)と、実績を重ねていった。

しかし、ここ2年の岩手及び岐阜での決勝大会では、連続して初戦で東京にあたり、負けてしまったため(いずれも東京が優勝)、東京を倒しての単独優勝が横浜マリナーズの悲願となっていた。そして、昨年、野木大輔新監督の下、厳しい予選を勝ち抜いて出場した

今回の全国大会単独優勝はとても嬉しいことであるし、これからも常勝軍団になれるよう頑張っていきたいと思うが、単に強いだけで良いとは思っていない。横浜マリナーズは、当会に所属する野球好きの弁護士どうしの趣味の集まりであるという原点だけは、常に忘れないようにしたい。

埼玉決勝大会の決勝戦で、遂に東京を3対1で破り、悲願を果たすことができたのである。このように、横浜マリナーズは、長い年月を経て弱小チームから強豪へと少しずつ変身を遂げてきた訳であるが、私が自慢したいのは、特定の有能な選手によって強くなったのではなく、多くの部員の長年のたゆまぬ努力によって強くなったという点である。

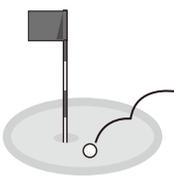
横濱マリナーズは常に多くの部員によって支えられている。大事な試合になると、普段は顔を見せない部員が遠方まで駆けつけ、裏方としてチームを支えるし、大先輩方も惜しみない協力をしてくれる。日頃の練習においても、レギュラーとそれ以外の選手との間に差別はない。これまで培ってきたこうした伝統はなぐしたくないと思っ

める各自のハンディキャップに基づき順位を決定しているが、忘年ゴルフだけは、例外的にその日限りのハンディキャップを算定する新ペリア方式を採用し、その結果、運と実力を兼ね備えた会員が優勝することになる。

### 忘年ゴルフ

#### 横浜法曹ゴルフ会

## 年の瀬に熟練の技が!



幅広い世代で楽しくプレー

横濱法曹ゴルフ会は、好天の昨年12月16日、毎年恒例忘年ゴルフを開催した。ゴルフ場はこちらも恒例の磯子カンツリークラブである。

今回は15期から68期まで(その差は実に半世紀を超える53期!!)の総勢21名が参加し、延命政之常議員会議長提供の議長杯を目指す、今年最後の真剣勝負が盛大に行われた。

当ゴルフ会が毎月行っている月例競技は、過去の競技成績を踏まえて定

近年、磯子カンツリークラブでは、乗用カートのみならず参加者全員のスコアがリアルタイムで確認可能なシステムが導入され、年の瀬に他人の不幸(大叩き)を小さくするガッツポーズと共に喜ぶ会員の姿は褒められたものではないが、これも真剣勝負の醍醐味というところであろう。

優勝は、15期で参加者中最高齢の西村好順弁護士(第一東京弁護士会)。

80歳を超えてもグロス93でラウンドされたの優勝は見事と言っほかなく、議長杯が幹事より贈呈された。

なお、西村弁護士と同じ15期の武内大佳会員はグロス85でラウンドし、大学ゴルフ部出身井上雅彦会員にグロスで勝利するという偉業を成し遂げ、今年の忘年ゴルフの主役は15期のお二人となった。

大先輩のお二人に完全に敗北した参加者一同、ゴルフは飛距離ではないことを改めて学んだ年の瀬となり、パーティは盛会のうち幕を閉じた。

今回68期永田昇会員が参加するなど、当ゴルフ会には60期代の会員も徐々に増えている。老若男女問わず、興味のある

### 編集後記

自動運転機能を搭載した車に興味があります。私は日常的に自動車を運転しておりませんが、弁護士資格を仕事のよりどころにしている立場上、事故の可能性を減らす機能は大歓迎です。ただ、技術は発展途上のようにです。安全運転を心がけながら、技術の進歩を待とうと思います

デスク 千歳 博信  
記者 大河内万紀子

三橋 潔  
奥園龍太郎  
越川 純哉  
滝島 広子